

指定整備事業におけるOBD検査の実施の流れ

【DTC照会アプリ】（一般的な流れ）

OBD検査を行う **検査員が自身のID・パスワードでログイン**

《**OBD検査モード**》になっているかの確認

検査用スキャンツール選択（**届出機器になっているか**）

車両情報の入力または読込 ⇒ 確定

OBD検査要否確認 ※

<要否確認の結果、以下の画面が表示される場合があります>

- 「車名選択」画面が表示された場合 ⇒ 車検証上の車名を選択し確定
- 「車両ID入力」画面が表示された場合 ⇒ 電子車検証に記載されている車両IDを入力し確定
- 「その他燃料選択」画面が表示された場合 ⇒ 車検証上の「燃料の種類」や「備考欄」に記載されている燃料をすべてチェックし確定

「OBD検査要」が表示

「OBD検査不要」が表示

OBD検査不要

但し、最終検査実施日時点での判断が必要

車両電源がOFFの状態で検査用スキャンツールを車両に接続

車両のエンジンを**ON**（ハイブリッド車等は**READY**）にて
《**OBD検査モード**》画面で、「実行」を押す

OBD検査結果が『適合』となっている場合は
指定整備記録簿に検査結果『良』として記載⇒**OBD検査完了**

※OBD検査要否確認で「OBD検査不可」が表示された場合は
OBD検査コールセンターに問い合わせを行う。